

第19回 ハートシェア 終了しました。

「抗がん剤ってどうなの?? ~抗がん剤治療のイメージや不安の語り合う会~」

H23年7月15日開催

今回はどんな会?

「抗がん剤治療」と聞いた時、中には吐き気や嘔吐、脱毛などのマイナスなイメージが思いつくかもしれません。しかし、現在の抗がん剤はここ10年来めざましい進歩を遂げ、各種のがんに効果的で、かつ副作用も最小限に抑えられたお薬が次々と開発されてきています。

今回は抗がん剤に対するイメージや抱えている疑問や不安などを語り合い、また現在の抗がん剤治療について理解を深めていただきながら想いを共有できる場となるようにプログラムを工夫してみました。

 **ミニ講座 「あれ?イメージと違う!?抗がん剤治療中の様子」**

担当; 森田 寿絵 (がん化学療法看護認定看護師)

参加者 22名 (男性 11名、女性 11名)

当日スタッフ

ファシリテーター

| | |
|---------------|--------|
| がん化学療法看護認定看護師 | 森田 寿絵 |
| 外来看護師 | 山口 静江 |
| がん化学療法認定薬剤師 | 斉藤 俊一郎 |
| がん相談支援センター相談員 | 小玉 かおり |
| 臨床心理士 | 大盛 久史 |

オブザーバー

血液内科・がん薬物療法暫定指導医 佐藤 一也

~当日の様子~

22名の参加者はまずグループに分かれ、それぞれ気になっていること、不安に思っていることを語り合いました。それぞれの方が持っている抗がん剤に関する『イメージ』、『疑問』、『不安』は共通する部分もあれば、それぞれの方のおかれている状況によって違う部分もありましたが、みなさん他の人の話にも真剣に耳を傾けて聞いていました。気がつくと予定していた時間はあっという間に過ぎ、さらに時間を延長したのですが、なかなか話が尽きることがありませんでした。そこで話題にあがったことに関しては、その後全員で共有し、必要な内容については認定看護師の森田さんが講演の中で答えてくださったり、最後に佐藤先生も医師の立場からみなさんの疑問や不安に関していろいろ相談にのってくださりました。

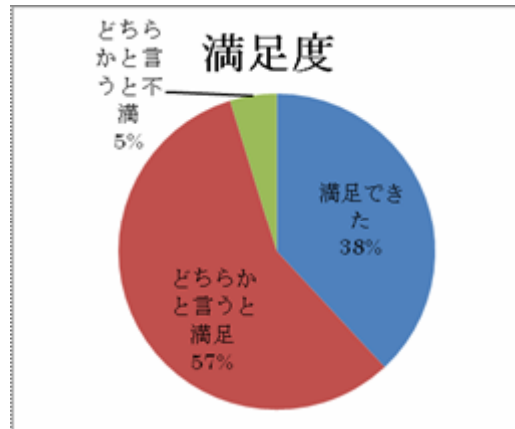
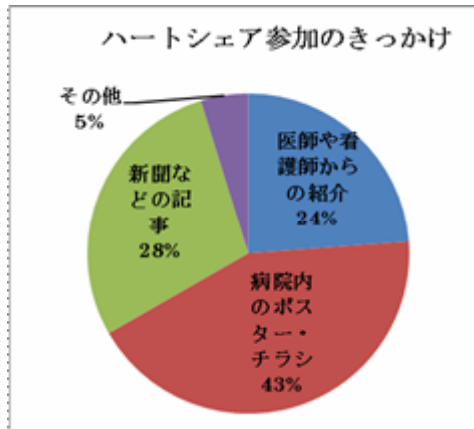


実際に語り合った内容です！

当日語り合った内容

- 副作用がつらいのではないかと
- どんな副作用が出るのか
- 20年前の副作用はつらそうだった
- 味覚、便秘、冷えると聞いている
- 抗がん剤はいつまで使えるのか？
- 治療中止になると無治療になることの不安
- 家族として味覚、脱毛に苦しむ本人をどう支えたらよいか？
- 治療の選択に迷う。先生にどうするか問われるが・・・
佐藤 Dr. よりアドバイス)先生と十分に話し合うことが基本だが・・・それでもうまくいかず迷う場合はセカンドオピニオンを利用するのもよいと思う
- 白血球が減っていることが不安
- 口内炎や食欲不振が出ている
- 副作用がどの時期に起きてくるのかわからず不安
- 先生の病状説明がわかりにくい
- 先生に質問しにくい
- 抗がん剤の治療費がどのくらいかかるのか不安 総合相談センターにご相談ください
- 本人がつらそうにしているのがつらい(家族の立場)
- 抗がん剤の種類を選び方がよくわからない。がんのできる臓器で決めているの？病気で決めているの？
- 現在の抗がん剤が効いていないように見えるが、副作用がつかなくてしんどかった。次の抗がん剤の話がされているが本人はまた効かないのにつらいだけならしたくないといっている。最初の抗がん剤(最も強いと思われるもの)が効かなくて次の抗がん剤が効くということはあるのか？
- 免疫療法について知りたい

アンケート結果



どちらかと言うと不満は時間が短い
時間をもう少し長くする方向で検討しています。

自由記述より(内容は原文のまま)

初めてですが大変良かったです。これからも続けて下さい

化学療法とはという点で基本的な事柄がわかりました。ありがとうございました。

質問に的確に答えていただいた。同じがん種(肺癌)の方々と話し合いたかった！！

前回の記事(6月15日)記事は新聞に載っていて興味を持ってみました。PRも大切なことです。おおいに宣伝することが大切と思われます。

ミニ講座 レポート

「あれ？イメージと違う!? 抗がん剤治療中の様子」

担当：森田 寿絵（がん化学療法看護認定看護師）



抗がん剤治療に関する基礎的な話を図や写真を交えて行ったださり、参加者にも大変わかりやすい内容でした。お話の中ではグループの中で話題にあがっていた『不安なこと』に対する回答となるものがたくさんありました。また、新しい薬である分子標的薬についても一般の方にもわかりやすいように解説してくださりました。さらに化学療法室についても写真をまじえて紹介してくださり、初めての人が聞いても普段の様子をイメージすることができたようです。終了後、化学療法室見学ツアーも開催しました！

佐藤 Dr. より医師の立場からアドバイス



最後に佐藤先生より医師の立場から参加者の『不安なこと』に関してアドバイスをいただきました。抗がん剤の知識に関する補足説明のほか、医師とのコミュニケーションに関する話、参加者の多くの方々の関心が高かった免疫療法に関する話など盛りだくさんな内容でした。

参加者の方々からはたくさんの質問が出され、時間もたっぷりオーバー……。しかし、参加者からは「大変満足でした」という声が聞かれました。佐藤先生ご協力ありがとうございました。

今回「抗がん剤治療ってどうなの??」という会を初めて開催し、改めて多くの方が抗がん剤治療に関するさまざまなことに不安を抱いているということを痛感しました。全てのことを語り合うことはできなかったかもしれませんが、こういった試みの中で当事者同士、そして当事者と医療スタッフが交流していくことは「抗がん剤に関する不安」を少しでも軽減していく上で大切なことであると感じました。今後も引き続き同様の試みを続けていきたいと思えます。

次回第 20 回ハートシェアは9月14日(水)です。

テーマは「がん治療中の女性の集い~母として妻として気がかりなこと」です。